古材活用普及啓発活動及びストックヤード運営業務 公募型プロポーザル実施要領

1. 業務名称

古材活用普及啓発活動及びストックヤード運営業務

2. 業務内容に関する事項

(1) 事業目的と概要

空き家活用の新たなアプローチとして、空き家を改修、解体する際に発生する廃材を古材として再利用し「古いものを大事に使い継ぐ」という市民のマインドを育み、「古くなった家も次の世代につないでいく」という文化を生み出すことで、空き家活用の機運を高め、また、思い出の詰まった家の解体に踏み切れない所有者に対し、解体されてもその家の部材を使い継いでもらえる仕組みがあることを提示し、背中を押すことで老朽空き家の解体促進につなげる。さらには、廃棄物や輸送コストを減らし環境負荷の低減に寄与することを目的とする。

(2) 業務内容

別紙「仕様書」のとおり

ただし、網掛け部分は、本プロポーザルにおける企画提案内容等を踏まえて行う協議により変更が想定されるため、確定ではない。

(3) 事業規模（委託料上限額）

金 4,000,000 円（消費税及び地方消費税相当額を含む）

(4) 契約期間

契約締結日から令和 8 年 3 月 31 日まで

3. 契約に関する事項

(1) 契約の方法

神戸市契約規則の規定に基づき、委託契約を締結する。契約内容は本市と協議のうえ、仕様書及び企画提案書に基づき決定する。

なお、契約の締結に際し、万一、応募書類の記載内容に虚偽の内容があった場合は、契約締結をしないことがある。

(2) 委託料の支払い

業務完了後、本市の検査を経て、受託者の請求に基づき支払うこととする。なお、分割払いの頻度や時期等については契約締結前に協議を行う。

(3) 契約書案

別紙「頭書」及び「委託契約約款」参照

(4) その他

契約締結後、当該契約の履行期間中に受託者が神戸市契約事務等からの暴力団等の排除に関する要綱に基づく除外措置を受けたとき、または本市との協議により本業務の継続的な履行が困難であると判断される場合、契約の解除を行う。

4. 応募資格、必要な資格・許認可等

本プロポーザルに応募する事業者（以下、「応募者」という。）は、参加申込から契約締結までの間を通して、次に掲げる条件のすべてに該当すること。なお、複数の事業者により構成される共同企業体に応募する場合は、その構成員すべてが次に掲げる条件のすべてに該当すること。

- ・地方自治法施行令第167条の4の規定に該当しないものであること。
 - ・「神戸市契約事務等からの暴力団等の排除に関する要綱」第5条に該当しないこと。
 - ・国税及び地方税について未納の税額がないこと。
- ※新型コロナウイルス感染症の影響により国税や地方税の換価の猶予の適用受けていることが確認できる場合、未納の扱いとはしないものとする。
- ・神戸市指名停止基準要綱に基づく指名停止を受けていないこと。
 - ・本業務の実施のために事業許可や資格等が必要な場合は、これらを有するまたは有する者を雇用していること。

5. スケジュール

・公募開始	令和7年7月22日
・参加申込み及び質問期限	令和7年8月4日
・質問に対する回答	令和7年8月18日
・企画提案書の提出期限	令和7年9月5日
・選定委員会	令和7年9月12日（予定）
・選定結果の通知・公表	令和7年9月中旬（予定）
・契約締結・業務開始	令和7年9月中旬（予定）
・業務完了	令和8年3月31日

6. 応募手続き等に関する事項

(1) 参加申込み

- ア 受付期間 令和7年7月22日から令和7年8月4日まで
- イ 提出書類 参加申込書兼誓約書（様式第1号）
- ウ 提出先 神戸市建築住宅局政策課（空家空地活用担当）
akiyaakichi@city.kobe.lg.jp 宛に Eメールで提出すること

(2) 質問及び回答

- ア 受付期間 令和7年7月22日から令和7年8月4日まで
- イ 提出書類 質問書(様式第2号)
- ウ 提出先 神戸市建築住宅局政策課(空家空地活用担当)
akiyaakichi@office.city.kobe.lg.jp 宛にEメールで提出すること
- エ 回答方法 参加申込者全員に対し、令和7年8月18日までにEメールで回答

(3) 企画提案

- ア 受付期間 令和7年7月22日から令和7年9月5日まで
- イ 提出書類 ①企画提案書(様式自由)
②見積書(様式自由)
- ウ 提出先 神戸市建築住宅局政策課(空家空地活用担当)
akiyaakichi@city.kobe.lg.jp 宛にEメールで提出すること
- エ 提案事項
企画提案書には必ず次の提案をすべて盛り込み、提案の有効性を示す根拠を交えて説明すること。なお、企画提案に基づき実施する業務に伴う一切の経費は委託料に含まれるものとし、本市は委託料以外の費用を負担しない。

① 「古材ストックヤードの運営」の実施内容、実施体制

本業務のうち古材ストックヤードを実施するにあたって、単に古材をストックするためでなく、古材活用や魅力を周知するための施設として運営するための効果的かつ現実的な運営方法の具体的な提案内容を記載すること。

② 「古材活用に関する啓蒙・啓発」の実施内容

古材活用や魅力を広く周知するため、本施設を利用したイベントや、その他情報媒体を用いた周知方法について、具体的な提案内容を記載すること。

③ 「古材活用に関する研究・評価」の実施内容

本市の空き家が抱える問題や、それに対し古材活用がもたらす効果について、本業務の実績を踏まえ、どのような研究、評価が可能か具体的に記載すること。

④ 本業務の実施計画

本業務の実施計画を策定すること。

⑤ 類似業務実績

本業務に類似した実績について記載すること。

⑥ その他、提案のセールスポイント

⑦提案見積と積算根拠

「古材ストックヤードの運営」「古材活用に関する啓蒙・啓発」「古材活用に関する研究・評価」の項目に内訳を分けること。なお、提案に基づき項目を新たに追加してもよいこととする。

7. 選定に関する事項

(1) 選定委員会

ア 選定方法 ①選定委員会が提出書類及びヒアリングの内容を基に評価を行い審査する。

②選定委員は、以下の評価項目に沿って100点満点で評価を行い、各委員の点数の平均点を評価点とする。評価点が最も高い応募者を委託候補者とする。

※ただし、評価点が50点未満の場合は委託候補者として選定しない。また、「運営方法／実施方法」又は「支援体制／支援提案」の評価項目それぞれの評価点が5点未満に満たない場合も委託候補者として選定しない。

評価項目			配点
1	運営方法 実施方法	・ 提案の運営方法は的確で公益性のあるものか ・ 提案の運営方法や啓発方法は的確で効率的なものか ・ 提案の研究、評価のテーマは的確で信頼性があるか	30点
2	支援体制 支援提案	・ 施設運営に対し十分な運営体制が確保されているか ・ 活用への後押しとなる提案や働きかけができる仕組みを持ち合わせているか ・ 研究、評価において評価者は学識経験者等の専門的な知見を有するものか	30点
3	実績	・ 古材の活用に関する業務の実績、知見を持ち合わせているか	10点
4	計画性	・ 工程の計画性、実施手順の妥当性があるか。 ・ 提案の計画は、将来的な持続性や発展性があるか。	20点
5	地域性	・ 提案者は、神戸市に本店、支店等を設けているか。 (本店：10点、支店：5点)	10点
合計			100点

イ 開催日時 令和7年9月12日(予定)

ウ 開催方法 ヒアリングは対面で実施する。

エ 評価点 審査の結果、評価点が最も高い応募者が複数いる場合は、当該応募者のうち、以下の評価基準の順に点数を比較し、点数が高い者を委託候補者とする。すべての評価基準の点数が同点の場合は、くじ引きにより決定する。

①「運営方法／実施方法」の点数

②「支援体制／支援提案」の点数

(2) 失格事由

次のいずれかに該当した応募者は、選定対象から除外する。

- ①選定委員会の委員長または委員に対して、直接・間接を問わず、故意に接触を求めること。
- ②契約候補者の選定までの間に契約候補者の選定までの間に他の応募者と企画提案の内容またはその意思について相談を行うこと。
- ③契約候補者の選定までの間に他の応募者に対して企画提案の内容を意図的に開示すること。
- ④提出書類に虚偽の記載を行うこと。
- ⑤その他、評価に影響を及ぼすおそれのある不正行為を行うこと。

(3) 選定結果通知

令和7年9月中旬を目途に、すべての応募者に結果を通知するとともに、神戸市ホームページ上で公表する。

8. 契約の締結

選定委員会において選定した委託候補者と契約締結の協議を行う。(最優秀提案者の辞退等があった場合は、上位の者から順に契約締結の協議を行うものとする。)

また、契約の締結にあたっては、「神戸市委託契約約款」に基づく委託契約を締結する。なお、契約に関して、下記書類の相互間に内容の齟齬がある場合には、以下の順に従って本業務を遂行するものとする。

- ①企画提案書作成に関する質問回答
- ②仕様書
- ③企画提案書等

ただし、「①又は②の内容」と、「③の内容」との間に齟齬がある場合、原則として「①又は②の内容」を優先するが、「③の内容」が「①又は②の内容」の水準を上回るときは、その限度で「③の内容」が「①又は②の内容」に優先するものとする。

その他同一順位の書類間に齟齬がある場合には、本市が事前に委託候補者と協議したうえで、その優先関係を判断する。

9. その他

- ・提出された書類について、あらかじめ選定委員会前に内容の確認を行う場合がある。
- ・すべての企画提案書は、返却しない。
- ・採用された企画提案書は、神戸市情報公開条例に基づき、非公開情報(個人情報、法人の正当な利益を害する情報等)を除いて、情報公開の対象となる。
- ・提出された企画提案書は、審査・業者選定の用以外に応募者に無断で使用しない(神

戸市情報公開条例に基づく公開を除く)。

- ・受付期間終了後の提出、差し替え等は認めない。
- ・参加申請後に神戸市指名停止基準要綱に基づく指名停止又は神戸市契約事務からの暴力団等の排除に関する要綱に基づく除外措置を受けた者の公募型プロポーザル参加は無効とする。
- ・企画提案書の提出後に、選定委員会への参加を辞退する場合は、速やかに「辞退届(様式第3号)」をEメールで提出すること。

10. 問い合わせ先

神戸市建築住宅局政策課(空家空地活用担当) 吉山、芝野、樋口

住 所 | 〒651-0083 神戸市中央区浜辺通2-1-30 三宮国際ビル3F

電 話 | 078-595-6736

E-Mail | akiyaakichi@city.kobe.lg.jp